

新設「葛木樋管」地域を湛水被害から守るために

(立田輪中悪水土地改良区)

我々は放っておくと水たまりになる場所で営農し、暮らしています。立田輪中地区(八輪小学校区、立田中学校区)でも、県営の農林水産事業で建設された排水機場が、立田輪中悪水土地改良区に管理され、地区内の終末排水を行って大雨などの災害から地区を守っています。しかし、設備の耐用年数も過ぎていることから、これを更新する県営事業が進められています。

写真の工事現場は、新しく移設更新される立田輪中北部排水機場が鵜戸川の悪水を吸い上げて葛木町へ送水し、その後木曽川へ放流するための水門を建設する工事の一部です。これには縦横の幅が2 m超のコンクリート管を堤防の底部に設置する必要があります。このため、明治時代の三川分流工事で建設された木曽川堤防を一旦壊す必要があったので、仮の堤防を設置し木曽川増水時の安全を確保したうえで施工しています。

これらの工事が完成し、森川町に2つ隣接する排水機場のうちの1つが新たに約 5 km北から排水するようになれば、八輪小学校区をはじめ立田中学校区の北部でも、大雨時の水位低下が今より早く実現出来るようになると期待されています。一連の工事作業では、騒音や振動、通行止めなどを伴うため、近隣の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、地区全体の営農と市民生活を守るために行われるものです。ご理解を賜れますようお願いいたします。



令和6年度 維持管理費		令和6年度 排水機場 運転状況		
水路、排水機場等 施設全体	うち水道光熱費のみ	排水機場名	運転日数	運転時間
39,171,933円	27,694,556 円	立 田 排 水 機 場	214日	2,305時間
		立田輪中 第二排水機場	204日	2,061時間

※維持管理費は、令和7年3月31日現在で支出処理が確定している値のみを記載しています。

排水機場は水を吸い込む機能上たくさんのゴミが流れてきます。処分には多くの費用が掛かりますので、水路へのゴミ捨てはやめてください。